

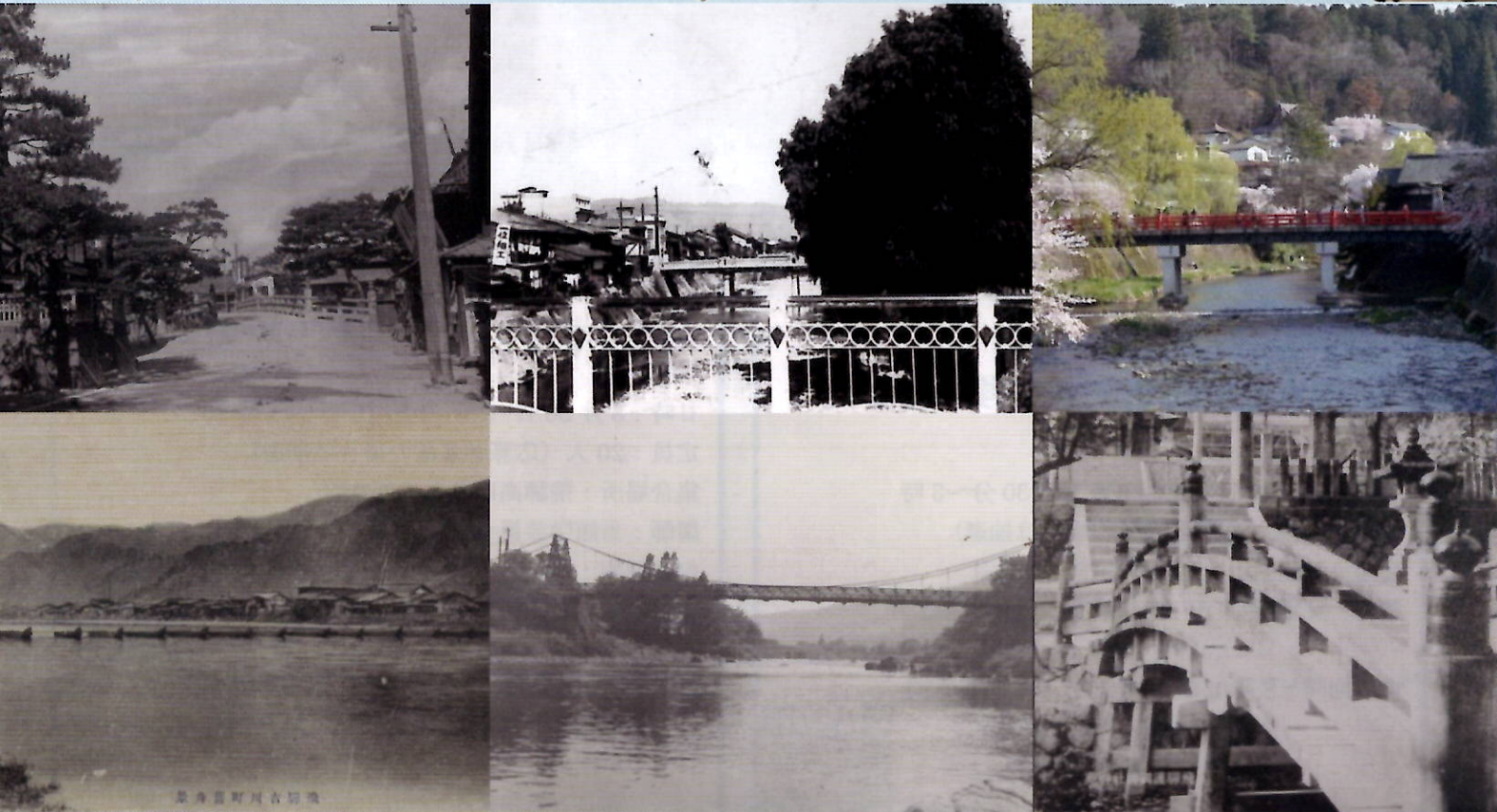
令和7年度夏季特別展

橋をかけるひだびと

— 飛騨橋物語 —

令和7年

7月12日(土) ~ 10月13日(月)(祝)



写真上左：明治大正頃の中橋 中：大正14年建設の中橋 右：現在の中橋
写真下左：古川町の舟橋 中：国府町三川の吊橋 右：護国神社の神橋



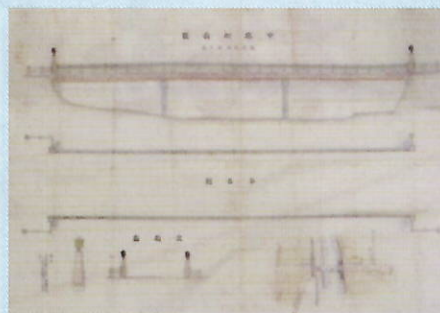
時間 午前9時～午後7時
主催 高山市教育委員会

飛騨高山まちの博物館



橋をかけるひだびと-飛騨橋物語-

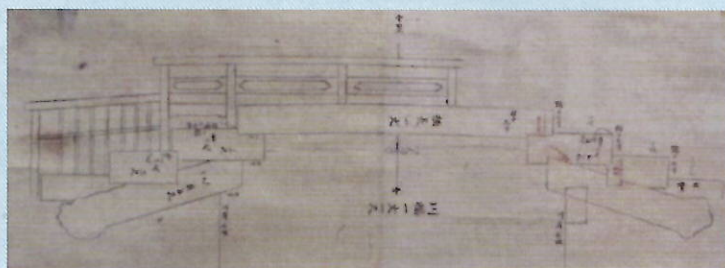
山国である飛騨には、いたるところに川や谷があります。延享3年(1746)に地役人上村木曾右衛門が著した『飛騨国中案内』によると、当時の飛騨には大小合わせて357ヶ所もの橋があり、身近なものであるとともに生活に欠かせないものでした。中でも、高山城とともに建設された中橋は城下町守備の要であるとともに、街道の起点でもあり、城の破却後も陣屋と高山の町を結ぶ重要な役割を果たしました。本展では、大正時代 of 架け替えから100年を迎えた中橋を中心に、高山市街地や飛騨地域に架かる橋の特徴や歴史、橋の建設に尽力した役人や町人の姿を紹介します。



「大正14年の中橋設計図」(高山市蔵)



「飛騨舟津藤橋之図」(当館蔵)



「荏名神社大前石御橋之図」(荏名神社蔵)



「元禄14年中橋棟札」
(当館蔵)



「長淀新橋記」
(個人蔵)

～関連事業～

◆記念講演会◆

「浮世絵から知る 橋の移り変わり」

日時：8月30日(土) 午後1時30分～3時
定員：60人(応募者多数の場合は抽選)
会場：飛騨高山まちの博物館 研修室
講師：紅林 章央氏(東京都道路整備保全公社 多摩橋梁担当課長)

申込期間：8月1日(金)～8月21日(木)

右記QRコードまたは電話、
メール、FAXなどで申し込み



◆現地見学会◆

高山市内に架かる橋を実際に見て特徴や歴史について学びます。

日時：8月30日(土) 午前10時～11時30分

定員：20人(応募者多数の場合は抽選)

集合場所：飛騨高山まちの博物館

講師：当館学芸員

申込期間：8月1日(金)～8月21日(木)

右記QRコードまたは電話、
メール、FAXなどで申し込み



◆当館学芸員によるギャラリートーク◆

日時：8月2日(土)、9月20日(土)

両日とも午後1時30分から 申し込み不要

飛騨高山まちの博物館

〒506-0844 岐阜県高山市上一之町75
電話：0577-32-1205 FAX：0577-35-1970
メール：machihaku@city.takayama.lg.jp
開館時間：午前9時～午後7時(会期中は無休)

